衆議院比例代表定数 31 議席削減に反対する声明

多様な民意を切り捨てず、すべての人の政治参加を保障する選挙制度を求める

2026 年 11 月 17 日
リ・ヌエック

2026 年 11 月 12 日、自由民主党、日本維新の会、国民民主党の 3 党は、衆議院の比例代表定数を 31 議席削減する法案を国会に提出しました。私たちは、この法案に強く反対し、撤回を求めます。

民主主義は、異なる立場や経験を持つ人々の声が尊重され、社会の意思決定や政策決定の場に反映されることによって成り立ちます。特に、女性、ジェンダー・マイノリティ、障がいのある人、若者、高齢者、子ども、経済的に困窮している人など、これまで政治の場で十分に声を届けることができなかった人々の政治参加を保障することは、重要な課題です。

比例代表制度は、小選挙区制では議席に結びつきにくい多様な民意を国会に反映させるための大切な仕組みです。

私たちリ・ヌエックは、旧国立女性教育会館（NWEC）が培ってきた女性の学習と交流、社会参画を支える機能を守り、発展させることを求めて活動してきました。誰もが学び、意見を表明し、社会の意思決定や政策決定の場に参画できることは、一人ひとりの尊厳と権利に関わる問題であり、民主主義の基盤です。

政治に参加する権利と、学ぶ権利をはじめとする社会権は、いずれも実質的に保障されなければなりません。そのためには、誰もが学び、交流し、社会や政策の意思決定に参加できる公共の場や制度が欠かせません。旧国立女性教育会館の施設と機能を守ることも、こうした権利を支える重要な取り組みの一つです。

選挙制度は議会制民主主義の根幹をなすものです。その変更は、一部の政党の合意だけで進めるのではなく、幅広い政党・会派と市民の参加のもとで、十分な議論を尽くすべきです。

民主主義に必要なのは、民意を削ることではなく、多様な民意を政治に届けることです。

私たちは、すべての人の声が尊重され、誰もが社会の意思決定や政策決定の場に参画できる民主主義の実現を求め、今回の比例代表定数削減に強く反対します。

以上